

昭和医科大学烏山病院だより

# あおぞら

〔発行責任者〕 病 院 長 真田 建史

〔編集責任者〕 広報委員長 真田 建史

〔住所〕 〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

〔電話〕 03-3300-5231(代表)

第226号

[2026年6月1日]

## 新入職員自己紹介

◇ 精神医学講座 助教 花房 慶太

お久しぶりです。精神医学講座の花房慶太と申します。この度、4年ぶりにこちらの病院で勤務させていただくことになりました。

以前、専攻医としてお世話になった馴染み深い環境で、再び皆様と一緒に働けることを大変嬉しく思っております。他院での様々な臨床経験で学んだことを活かし、患者さん一人ひとりの生活に寄り添った丁寧な診療を心がけ、少しでも当院に貢献できるよう精進してまいります。今後ともよろしく願いいたします。

◇ 精神医学講座 助教（医科） 下野 純

はじめまして。このたび新たに赴任いたしました医師の下野 純と申します。一昨年度にも一年間こちらで勤務しており、一年ぶりにこちらに戻ってきた形となります。ご負担を多くおかけし、まだまだ至らない点が多く、お世話になりっぱなしではありますが、何卒よろしく願い申し上げます。

◇ 精神医学講座 助教（医科） 中野 邦洋

このたび精神科医局に入局いたしました中野邦洋と申します。精神医学の奥深さに魅力を感じ、この分野で研鑽を積むことを志しました。患者さんに寄り添う姿勢を大切にしながら、臨床・教育・研究に真摯に取り組んでまいります。今後ともご指導のほどよろしく願い申し上げます。

◇ 精神医学講座 助教（医科） 森谷 諒

4年目の森谷です。昨年度は千葉県館山市に出向し、地域に根ざした医療に携わる機会をいただきました。日々の診療を通して多くのことを学び、自分自身を見つめ直す一年になったと感じています。今年度は初心を忘れず、周囲の先生方やスタッフの皆さまから学びながら、一つひとつ丁寧に取り組んでまいります。何卒宜しく願いします。

◇ 精神医学講座 大学院生 大野 泰裕

平素より大変お世話になっております。昭和医科大学医学部精神医学講座、入局9年目の大野泰裕と申します。3年間ほど昭和医科大学病院附属東病院に配属でしたが、新年度から烏山病院で4年ぶりの異動になります（4年前の当時はB3病棟配属でした）。今年度はC4病棟の配属で、病棟長の花輪先生、片岡先生、秋山先生と勤務スタートになります。太田晴久先生も病棟に伺うこともあり、再びご指導を賜れますと幸いです。至らない点があるかと思いますが何卒よろしく願い申し上げます。

## 着任のご挨拶

放射線技術室 加藤 隼斗

大学病院から参りました加藤隼斗です。大学病院では、主にIVRを専門に担当しており、特にハイブリット手術室での業務に従事していました。

精神科の患者様の対応経験がほとんどないため、少しずつ患者様への接し方や臨機応変な検査対応を学んでいければと思っております。

放射線技術室は2名と少ない人数で検査を行っておりますが、緊急検査等可能な限り対応していきますので、ご相談いただくと幸いです。

不慣れなことが多く、ご迷惑をお掛けするかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

## 作業療法「リボーンのキセキ」

作業療法室 中野雄太郎 阿相日菜梨 古賀誠

2024年4月からB3病棟で新しいプログラムを開始しました。その名も「リボーン」です。リボーンには「生まれ変わること・再生」という意味があり、プログラム名を提案した参加者（以下：メンバー）は「自分達も社会に戻って行く」という意気込みで決めました。

「自分の人生に責任を持つ」「経験を積み重ねて、社会生活の準備を行う」というテーマを掲げてスタートし、プログラムを通して社会生活に戻る準備を行っています。

そんなリボーンも2年経過し、今ではB3病棟のメンバーだけではなく、B4病棟や外来患者も参加しています。昨年度からは「どこかでだれかがだれかの役に立つ」というテーマを加えました。作業療法的視点では、認知機能（注意・判断・注意・集中）や、役割行動、セルフマネジメント、体力作り、自己効力感を重視した内容となっています。具体的には調理、写経、サーキットトレーニング、社会資源見学等です。夏祭りや紅白歌合戦などのイベントをリボーンで企画運営し、大勢の方にご来場くださりました。イベント運営を行ったことでメンバー同士の達成感と絆が深まり、今後の人生の良い経験となりました。

2026年度も烏山病院内に『リボーン旋風』を巻き起こせるようにスタッフ、メンバーで協力しながらプログラムを行っていきます。これからも皆様には温かく見守って頂けたらと思います。



当院では、医療サービスの向上と病院運営の改善を目的に、毎年患者満足度調査を実施しております。2025年度におきましても、2026年2月13日（金）から2月27日（金）の期間で調査を行い、外来379名、入院112名の皆様にご協力いただきました。調査にご協力いただきました患者様やご家族の皆様には、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

2025年度より評価方法を見直し、従来の100点満点による総合評価に代わり、各質問項目の「満足度（5段階評価）」を新たな指標として集計いたしました。2025年度の調査結果の概要を以下の通りご報告いたします。

### 【外来調査結果】

受診への総合的な満足度は、「とても良い」「良い」を合わせて約6割（61%）の高い評価をいただきました。2024年度要望の多かった「呼び出しシステムの導入」については、2026年1月より電光掲示板の導入、会計時の番号呼び出しへの変更により、「名前を呼ばれる不安がなくなった」「分かりやすくなった」と好意的なお声をいただいております。一方で、診察や会計の待ち時間に対する負担は依然としてみられ、今後の短縮や混雑緩和に向けたスムーズな運営体制の整備に向け、精進いたします。

### 【入院調査結果】

医療サービスへの総合的な満足度は、「とても良い」「良い」を合わせて過半数（56%）の皆様に満足していただくことができました。昨年度課題だった「医師への相談のしやすさや説明の丁寧さ」は、「担当医が親密に相談に乗ってくれた」など感謝の声が多く、改善が見られます。しかし、病棟設備（洗濯機・乾燥機の故障対応や浴室の給温水量など）への不満や改善要望が一部で上がっているため、安心して治療に専念できる環境整備を迅速に進めてまいります。

これからも患者さんが快適かつ安心して受診できる病院を目指し、職員一同、日々の医療サービス改善に邁進してまいります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

### 【調査概要】

調査期間：2026年2月13日～2月27日

調査方法（無記名方式）：【外来】外来待合ホールにて配布・回収 / 【入院】各病棟にて配布・回収



今回は、デイケアについてスタッフよりご紹介します。

リハビリテーションセンターでは、デイケアとショートケアを行っています。デイケアは、生活支援や仲間作りを主としたAコースと、就労準備を主としたBコースに分かれています。Aコースでは、創作活動や書道、英会話、軽スポーツなど、Bコースでは、認知行動療法や就労準備、委員会活動などのプログラムを行っています。ショートケアでは、発達障害専門プログラムを実施しています。

外来通院中の方を対象とし、1日約50～80名の方が利用されています。統合失調症や気分障害、発達障害など、18歳～80歳代まで幅広い年代の方が通われています。

スタッフは、医師・心理士・精神保健福祉士・作業療法士・看護師・ピアサポーターで構成されており、日常生活の困りごとや就労に関する相談などに対応しています。

ホームページやXも随時更新していますので、ぜひご覧ください。興味のある方は、外来主治医にご相談のうえ、お気軽に見学にお越しください。

リハセンターHP



<https://square.umin.ac.jp/skrc/>

デイケア X



<https://x.com/karasuyamadc>



《 4 月 》	入 院(前 月)	外 来(前 月)
◆延 患 者 数	8,500(8,783)	6,583(6,622)
◇一日平均患者数	283.3(283.3)	263.3(264.9)
◆診 療 実 日 数	31(31)	25(25)

### 総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

診察時間：月曜日～土曜日 8時30分～17時

電 話：月曜日～土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～土曜日 8時30分～14時

◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は [k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp](mailto:k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp) となります。こちら鳥山病院のホームページのQRコードとなります。ぜひご覧ください。



鳥山病院精神医学講座インスタグラムが開設されました。

随時情報を発信していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



### 【 編 集 後 記 】

今号の「あおぞら」はいかがでしたでしょうか。今回は、患者様が社会に戻るための、作業療法プログラムのこだわりや工夫について特集いたしました。また、当院に新しく加わった仲間や、異動によって新たなスタートを切った職員の紹介も掲載しております。新しい顔ぶれを迎え、スタッフ一同、より一層医療・ケアを提供できるよう励んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

広報委員 其原

